



2023年9月29日

各 位

会 社 名 株式会社フォーバル  
代表者名 代表取締役社長 中島 將典  
(コード番号: 8275 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役 加藤 康二  
電話 03-3498-1541

プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況（変更）  
並びにスタンダード市場への選択申請及び適合状況について

当社は、2021年12月20日に「上場維持基準適合のための計画書」（以下「適合計画書」といいます。）を提出し、その内容について開示しております。本日、直近基準日（2023年3月31日）時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況及び適合に向けた進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。また参考データとして上場維持基準に不適合となっている1日平均売買代金について2023年1月から2023年8月末までの数値を当社が計算した数値を追記しております。

なお、本日開催の取締役会において、2023年4月1日施行の株式会社東京証券取引所の規則改正に伴う、経過措置の終了とスタンダード市場への再選択の機会を踏まえて、直近におけるプライム市場の上場維持基準への当社の適合状況と当社の事業方針・経営体制等とプライム市場・スタンダード市場との親和性等をあらためて審議した結果、スタンダード市場への選択申請を行うことを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. プライム市場の上場維持基準への適合状況の推移

当社の直近基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は以下のとおりとなっております。

適合計画書提出以降、1日平均売買代金の基準（1日平均 20百万円）を充たすために各種取り組みを進めてまいりました。本年7月単月においては平均30百万円を超えておりましたが当社が計算した1月から8月末の平均では基準を充たしておりません。

		流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	1日平均 売買代金
当社の適合 状況及びそ の推移	2021年6月末 時点	138,478株	116億円	49.9%	8百万円
	2022年12月末 時点	139,062株	131億円	50.1%	10百万円
	2023年3月末 時点	119,609株	124億円	43.1%	10百万円
	2023年8月末 時点				13百万円
上場維持基準		20,000株	100億円	35.0%	20百万円
適合状況		適合	適合	適合	不適合
当初の計画に 記載した計画期間					2026年12月末

2022年12月末時点の1日平均売買代金の数値は取引所より通知のあった数値を記載しております。

2023年3月末時点の流通株式数、流通株式時価総額、流通株式比率に関しては当社が取引所に提出した数値を記載しております。1日売買代金は2022年12月末時点の数値を記載しております。

2023年8月末時点の1日平均売買代金は2023年1月から2023年8月までの平均を当社が計算したものです。

「当初の計画に記載した計画期間」に関して当初は2027年3月末としておりましたが1日平均売買代金の基準が1月から12月までの平均売買代金であることから2026年12月に修正しております。

## 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の実施状況及び評価

### ◆IR 活動に関して、従来と異なる取り組みを実施しました。

具体的には外部リソース（IR・PR 会社など）を更に活用しフォーバルの事業活動状況を動画ニュース配信サービスにより広く・深く知っていただく活動を行っております。また現在の事業活動により連携して、例えば地方創生において地域行政・経済に密接に結びついている当社の活動を地域のメディアにおいても大きく取り上げられる活動も行っております。これら動画ニュースサービスでの視聴数は非常に高く、当社の事業活動に多くの関心が向けられたことを表していると評価しております。先の株主優待制度実施と同様、当社への認知度を高めることに成功したと施策と評価しております。以下は当社の活動事例等を紹介している動画ニュースサービスのURLです。

■GDX リサーチ研究所 事例■

▼BlueReport 編▼

[https://news-tv.jp/\\_ct/16961613](https://news-tv.jp/_ct/16961613)

■イベント 事例■

▼GDX リサーチ研究所・アイコン事業本部 共催：FOR SOCIAL VALUE CONSORTIUM▼

[https://news-tv.jp/\\_ct/16961724](https://news-tv.jp/_ct/16961724)

■地方創生 事例■

▼DX と GX で鹿児島県さつま町の課題解決に挑む！フォーバルの地方創生プロジェクトとは？

[https://news-tv.jp/\\_ct/16961812](https://news-tv.jp/_ct/16961812)

▼山口県の道の駅が DX で活性化！地域全体を盛り上げるための打ち手とは？

[https://news-tv.jp/\\_ct/16961768](https://news-tv.jp/_ct/16961768)

### 3. スタンダード市場の選択理由

既述のように不適合要件の1日平均売買代金に関して基準に達した月もありますが、1年間を通じて安定的に基準に達するまでには至っておりません。また、今後義務化されるだろう諸要件に関してグローバルな視点を重視した基準と評価しておりますが、あらためて当社の経営方針・信条と照らし合わせた結果、経営資源を優先的に事業活動の拡大に向けるべきとの結論に達しました。その結果プライム市場上場維持基準を安定的・継続的に充足する状態が保てなかった場合には上場廃止リスクもあることから、当社の株主の皆様が不安を持つことなく安心して当社株式を保有・売買できる環境を整えることが重要であると判断し、スタンダード市場を選択することといたしました。

### 4. スタンダード市場の上場維持基準への適合状況

スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は下表のとおりで、スタンダード市場の全ての  
上場維持基準に適合しております。月平均売買高基準10単位は基準を大きく満たしておりますので  
下表には記載しておりません

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	純資産の額
		人	株	億円	%	百万円
当社の適合状況	2023年3月31日現在	3,629	119,606	124	43.12	正
スタンダード市場の上場維持基準		400	2,000	10	25	純資産の額が 正
適合状況		○	○	○	○	○

当社の適合状況は、取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

当社は、スタンダード市場への上場選択時点で、同市場における全ての上場維持基準に適合している状況にあることから、今後、上場維持基準の各項目の判定基準日において同市場の上場維持基準のいずれかに適合しない状況とならない限り、「スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画」の開示の必要はありません。

なお、当社はスタンダード市場の再選択を申請いたしますが、2021年12月20日に提出した「新市場区分の上場維持基準への適合に向けた計画書」における主要施策・取組みは変更せず、積極的な情報開示や高いガバナンス水準の維持に努めるとともに、持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。

#### 5. スタンダード市場への移行予定日

2023年10月20日となります。

以 上